

かなざわ

金箔衣服の製法伝授

衣服に金箔を印刷し、洗濯してもはがれない技術「印箔プリント」を考案した豊町の衣料店オーナー木戸口智一さん(右)は二日までに、小立野三丁目NPO法人オープンハウスクロバーで、障害者に印箔プリントなどを教える活動を始めた。

木戸口さんは、印箔プリントで五月に実用新案権を取得した。七尾市で毎日空き缶を拾っている祖母から奉仕の精神を学び、「地域に何か貢献したい」として、五月初旬、豊町から近い同施設に今回の話を持ちかけた。同施設は、障害者の就労を目的とした通所施設で、現在十八歳から七十三歳までの身

実用新案、障害者に

木戸口さん

「地域に貢献」



体、知的、精神の三障害に該当する十三人がタオルの袋詰めや箱折り、ピースのストラップ作りなどの仕事に取り組んでいる。木戸口さんは現在、一カ月に二回ほどのペースで同施設に通い、Tシャツの畳み方や袋詰めの方法などを指導

金箔が印刷されたTシャツを手に取りする木戸口さん

豊町

している。将来は金箔を布地に印刷する作業工程を教える予定である。

木戸口さんは「手先が器用なら障害に関係

なく金箔を扱える。自分の考案した技術が障害のある人の力になればうれしい」と話した。同施設の養子代表は「少しずつ作業を覚えて自信につなげてほしい」としている。

麻で作る

季節の花

北陸銀行東金沢出張所の第二十四回地域の匠展・シナマイロールフラワー展(北國新聞社後援)は一日、大樋町の同出張所で始まり、網状の麻を巻き込んで花の形にする、シナマイロールフラワーが訪れた人に清涼感を与えている。

会場ではラッピングコーディネーターの龜田信子さん(内灘町大根布一丁目)の指導で、法光寺町の小野口玉木さんが制作したバラなど、季節の花を模した色とりどりの造花二十二点が並んだ。八月一日まで。